

作成日： R7 年 6 月 19 日

令和 7 年度 第 2 回 高松圏域自立支援協議会 相談支援部会 議事録

日付	令和 7 年 5 月 15 日(木)
時間	9:20~10:50
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター 2 階 第 1 研修室
参加機関等	高松市障がい福祉課、三木町福祉介護課、障害者生活支援センターたかまつ、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターあい、障害者地域生活支援センターほっと、支援センターりゅううん、支援センタークリマ、支援センターこがも、相談支援事業所ライブサポートセンター、障害者相談支援センターつなぐ、相談支援事業所おりがみ、相談支援事業 COMPASS サポート、自立ケアシステム香川、高松市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、相談支援事業所ウェルネスサポート、相談支援事業所 We、支援センターgaryu、シシィ相談支援事業所、相談支援センターあいリンク、相談支援センターペンタス、相談支援事業所すりいーえむ、ごーサポ、障害者相談支援事業所つつみ、児童発達支援センターKusu の木、相談支援事業所ラピッド、あづき、AZURE サポート、相談支援事業所La pause、相談支援事業所リガード、相談支援センターギヴン、三木町社協、高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計 34 名

<事業所 PR 他お知らせ>

内容	・相談支援事業所リガード初参加 ・運営委員会にこがもが参画 ・相談支援専門員調査については、皆様に配信済み
----	---

議題1：計画相談の受け入れについて

内容	・9ヵ所の事業所が受け入れ可能
----	-----------------

議題2：困りごとや相談等

内容	・基幹から依頼があり、計画を受けることになったが、市の聞き取り調査の同席依頼があり、それまでにアセスメントをしようとしたが、聴き取り調査の時に、と断られたということがあり、疑問に感じている。 →市の調査と相談支援専門員のアセスメントは、そもそも別物であるので、利用者さんとしっかり関係性を築くためにも、同一場面でなければいけないということではない。状況として、一緒にせざるを得ないこともあるかもしれないが。 ・病院の口腔外科にて、脳性麻痺という障害を理由に、手術を拒否されることがあった件については、関係機関に相談をし、病院側の対応が不適切であったことは認めてもらったが、本人に対する謝罪は無い。今後も交渉していく。 ・こがもさんより、新事業所を新築したが、実施事業については、変更
----	--

	はない。
--	------

議題3: GSV	
内容	・高松市社協、kusu の木、We より、それぞれ事例を提出し、GSV を行った。 ・事例提供者からの感想としては、 ・これまで考え付かなかったような意見をもらい、目からうろこであった。 ・サービスでもなく、地域の資源でもなく、自分でどうにかする、という視点も重要であることに気付かされた。 ・まだ経験が浅い状態で受けたケースで、いろいろ教えてもらったので、少し心が楽になった。

次回予定

日時:R7 年 6 月 16 日(金)9:20～10:50

場所:かがわ総合リハビリテーション福祉センター
2 階 第 1・2 研修室

内容:GSV (医ケアの事例)